

にしめら 議会だより



NISHIMERA VILLAGERS

2022 1月
No.164

発行：西米良村議会



宮崎県市町村対抗駅伝競走大会
「西米良村選手団結団式」

- ◎ 12月定例会…………… P 2
- ◎ 第3回臨時議会…………… P 4
- ◎ 監査室より…………… P 5
- ◎ 議員研修…………… P 7
- ◎ 現地調査…………… P 7
- ◎ 尾春地区山地災害の早期復旧整備を要望… P 9



令和4年 年頭のごあいさつ

西米良村議会議長 上米良 秀 俊

謹んで新春のお慶びを申し上げます。村民の皆様におかれましては、それぞれの抱負を胸に、新たな年をお迎えになられたことと存じます。

日頃から村議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たち7名の議員は、任期中の仕事としては総仕上げの年を迎えたこととなりますが、村民の皆様の付託と信頼に応え、村議会としての責務を果たしていく所存でありますので、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年コロナに始まりコロナに終わった一年でありました。幸いにして村内におきましては、村民の皆様に積極的に感染防止対策に取り組んでいただき感染者は出ておりませんが、

花火大会やメラリンピック等の村内各行事が軒並み中止や延期、規模を縮小しての開催となりました。未だ終息の兆しが見えない状況の中で様々な支援策や感染拡大に向けた取り組みがなされていますが、新たな変異株流行の兆しが見られ第6波の感染拡大が心配されます。一日も早い終息が待たれるところです。

一方で、若い世代の活躍には目覚ましいものがありました。将棋の世界では、19歳の藤井聡太九段が竜王となり四冠を達成し一躍話題となりました。そして、

コロナ禍で57年ぶり2回目の東京オリンピックが開催され、日本選手の柔道、競泳、卓球、体操、野球、ソフトボール、レスリング、空手等での金メダル獲得は記憶に残るところです。

本村の子ども達に目を向

けますと、学校教育においてICT機器を活用した情報化への取り組みが行われており、昨年は小中学校で「教育の情報化」研究公開が実施されました。本村が本県ICT教育をリードしていることを誇りに思っています。また、伝統ある剣道の指導にも力が注がれ、県中学校秋季体育大会において、男子団体で西米良中学校が3年ぶり2度目の優勝をする等、子ども達の将来に大きな期待を寄せるところです。

結びに、地方創生へ向けた数々の施策も本格化する中、議会といたしましても全力で取り組むことをお誓い申し上げます。今年一年が皆様にとりまして、健康で幸多き年になりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

12月定例会

令和3年第4回定例会は、12月3日の1日間行われた。審議の結果、提案された議案10件を原案のとおり可決・同意した。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出それぞれ572万8千円を減額
総額 28億4千918万1千円とする。

質疑応答

上米良玲 土地取得費の365万4千円の詳細と目的は？

答 鉦山団地隣接の山林62ヘクタールで、村道維持管理等を含め土地の村外流出を防ぐとともに管理をしなければ災害に繋がる恐れがあるため購入することとした。

上米良玲 ワークーション施設整備委託の内容は？

答 おがわ作小屋村の民話館にワークーション施設を設置予定している。専門家に備

品整備も含め全体的にコーディネートとの委託を予定している。

白石幸喜 移住支援金120万円の内容は？

答 移住と地域の人材確保を図るための補助金で、県外から就労のため移住された方に対し単独で一件当たり60万円を世帯であれば100万円を支給している今回は2名分を計上している。

白石幸喜 九州大会出場補助金の内容は？

答 九州中学校選抜新人剣道大会に出場する選手11名、引率者2名に一人1万円の補助で13万円を計上している。

児玉義和 健康管理システム改修委託料の内容は？

答 個人がマイナポータルを使い、がん検診情報を閲覧できるように必要なシステム改修委託料となっている。

補正予算

令和3年度一般会計
補正予算(第7号)
歳入歳出それぞれ1千47万円を追加
総額 28億5千965万1千円とする。

後期高齢者事業会計 補正予算

過年度保険料還付金1万8千円を補正し、総額が2千621万4千円となった。

質疑応答

濱砂恒光 子育て世帯臨時特別給付金の内容は？

答 現在、対象者190名ぐらいを予定している。

特別会計

診療所施設会計

補正予算

看護師の時間外勤務及び業務手当210万円、医師住宅改修費等124万8千円、新型コロナ関係医薬材料費等153万7千円を補正し、総額が3億1千999万7千円となった。

質疑応答

工事請負費400万円を補正し、総額が3千166万円となった。

下水道事業会計 補正予算

白石幸喜 新規で公共樹整備400万円が必要となった理由は？
答 田無瀬地区に古民家利用の宿泊施設及びコワーキングスペース施設が整備されるため。

条例改正

西米良村消防団条例の一部改正

令和4年度から西米良村消防団に分団制を導入することに伴い、分団長についての資格要件を加える改正をするもの。

西米良村名誉消防団員条例の一部改正

令和4年度から西米良村消防団に分団制を導入することに伴い「分団長」、「名誉分団長」を加える。

西米良村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

消防分団長年報酬13万円を追加。

質疑応答

黒木竜二 分団制は3分団と聞く。今後の各部の編成としては、部長以下の幹部は従来のまま割り当てるのか？

また、各部の会計についても難しくなると思うが、どうなるのか？

答 現在の部長以下班長等、組織についてはそのまま継続し、新たに分団長という役割が追加されるものである。

各部の会計については、各部の実態は様々なので、今回、分団制の導入を踏まえ、足並みをそろえることも必要だと考え、現段階では村からの助成金に一本化する方向で、地区からの補助金、各世帯からの消費は止めていた、ただ、消防団の方には話をしていく。

また、現在、各部で持っている会計については、各部の状況等を踏まえ、整理については詳しく検討していく。

財産の取得

令和3年度医療施設等設備整備補助金の交付を受け、超音波診断装置一式を購入する。
購入金額 1千12万円
契約相手 (株)メデイカル梶本



教育長の任命について

任期満了に伴う教育長の任命に同意した。
任期は令和4年1月1日～令和6年12月31日まで。



古川信夫氏
(村所)

議案の採決結果 第4回定例会

○全員賛成で可決した議案等

条 例	西米良村消防団条例の一部改正
	西米良村名誉消防団員条例の一部改正
	西米良村特別職の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
財産取得	超音波診断装置の購入
人 事	西米良村教育長の任命
補正予算	一般会計(第6号)及び(第7号)
	診療所施設会計(第3号)
	後期高齢者事業会計(第2号)
	下水道事業会計(第2号)

第3回臨時議会

令和3年11月15日に臨時議会を開会し、次の議案について全会一致で承認・採択した。

補正予算(専決処分)

令和3年度一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ428万6千円を追加
総額 28億5千409万9千円とする。

ワクチン接種体制を整備

3回目のコロナワクチン接種体制によるシステム改修委託料によるもの。

また、3回目の接種時期については、医療関係者は12月中旬に、65歳以上は2月以降、一般の方は3月中旬以降の予定である。

井戸内谷崩壊防止に関する請願について

安心できる生活を

請願内容は、令和2年、3年の豪雨・台風により尾春地区で山腹が崩壊し井戸内谷に土石流が流入。急峻な地形の為、土砂が直下の人家や、養殖場等に流入し人命財産に大きな影響を与えない為の早期復旧を願うもの。↓要望活動については9ページへ

監査室より

今回は役場の各課毎に定期監査を実施していますので、監査が終了した課において評価される業務、指摘、改善を求めた業務について公表いたします。

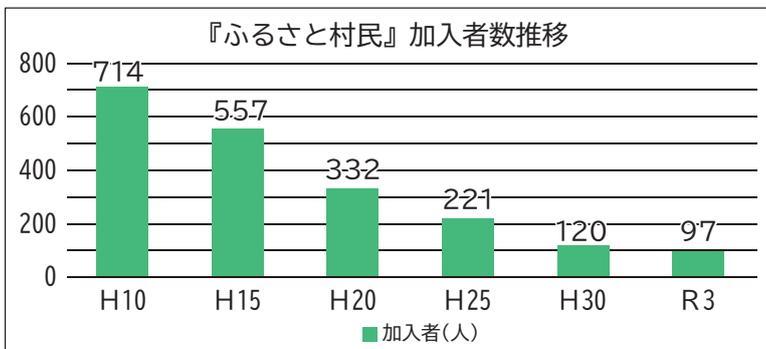
ふるさと村民制度とふるさと納税について

◆むら創生課

ふるさと村民制度は、昭和58年に制度化され最盛期には1千人を超える状況で全国的にも注目された事業であったが、令和3年度の加入者は97人と最盛期の1割弱に減少している。

2千円で村の収入は0である。ここは丁寧な対応をし「村産品の生産者、ふるさと納税者、そして西米良村」の三方良しのふるさと納税に一本化すべきではないか。

【実績】 令和3年度:97件(1件:12,000円)
 柚子の木:10件(1件:10,000円)



評価される各種の事業

◆農林振興課

村の主要施策については計画的に事業が推進されている。地籍調査事業についても案件の悪い尾股地区、横野の奥地の調査では隣接する綾町、西都市寒川等を経由して現場に入って調査を進め、当初の予定より2年早く令和4年度で村内全域の測量調査が終了することである。その努力を評価したい。

各種補助金については見直しも必要

各補助事業については、農林振興課に限らずそれぞれの課が担当する個人への補助金、団体への補助金は年間総額2億6千万円余りであるが、これまで

の経緯や状況を見極め慣例的に交付することなく、後継者や補助効果もすっかり検証し効果が少なくなったものについては廃止することも必要である。

例えば、椎茸生産者部門は会員30名であるが、令和2年度の乾燥椎茸の生産量は1千492kgで販売額は420万円余りで、平均単価は2千845円。種駒代燃料代等高い生産経費のわりには単価も安く生産意欲も出ないのではないか。最盛期には一人で1kg近く生産し、単価の今の倍近かったと思う。補助金等の効果も薄く、生産者も高齢化しているようである。

村の特産品として位置づけるのであれば根本的な対策も必要であるが、そうでなければ関連の補助金の見直しも検討すべきではないか。

これまでの経緯や状況を見極め慣例的に交付することなく、

宮交バスの運行について

◆村民課

宮崎交通によるバスの運行については村費の他、県の広域的バス路線運行費補助金を

受け、西都く村所間の運行が行われているが、2年連続で平均乗車密度が1.0未満になると県の補助金の対象外になる。令和2年は0.8、令和3年は今のところ0.6である。この2年間の数値はコロナ禍のため力ウントしないとのことであるが、厳しい状況が続いている。

西都市の動向も気になるところで、今年11月5日から7日間に亘る乗降調査を西都市と合同で実施した結果、乗降者0人の日が2日、1人が1日、2人が3日、3人が1日という状況であった。こうした状況は村民にもしつかり周知し、今後出てくるであろう



高く評価される 学校教育

◆教育委員会

学校教育では積極的な学力

向上対策、ICT教育等で大きな成果をあげている。宮日新聞に全国の先生を対象にしたアンケート調査でICT教育の「指導に自信がない」と答えた先生の割合が宮崎県は全国で最も高かった。とあったが、本村では早くから情報化教育に力を注ぎ、全般「教育の情報化」についての研究公開が全国に発信されるなど先生方のスキルアップにも努め県教育会をけん引していることは高く評価される。

また中学校の剣道が宮崎県1位に輝いたことも嬉しいニュースで、指導者、生徒の努力は大いに称賛される。

トレーニング施設の 屋根腐食について

トレーニング施設の金属板屋根の腐食が進んでいる状況が見受けられる。

このことについては以前にも指摘したが、早急に対策を行うべきだと思う。この施設はスポーツだけではなく、村の各種の式典や大会等が行われる基幹施設でもある。改修にはかなりの予算と改修期間が必要だが、雨漏りするようになってからでは更に経費等が膨らむことにもなる。



監査室より

議会を 村員研修して 町議員講習 受講 黒木 竜二

令和3年10月13日～15日にかけて滋賀県大津市にある国際文化研修所において「人口減少における議会の役割」という研修内容で、また、10月25日～26日にかけては「町村議会議員特別セミナー」という内容でオンラインセミナーを受講した。

議員研修では、今から各自治体でおこりうる人口減少問題についての人口推移のシミュレーションを行うことで、どのような弊害をもたらすのか。その為の対策など、様々な観点からの講習であった。

た。本村においては20年後に人口600名になると予想されている。その中で、地域創生の役割が大変重要であることを認識させられた。若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現や地域の特性（本村の文化・伝統継承・地域コミュニティの在り方・高齢化・福祉）に即した地域課題の解決等に注視し、長期総合計画に沿った取り組みを行えるか。その為に住民の合意形成（いかに住民に納得していただけるか？住民の意見を踏まえた政策ができてくるか？）政策のなかでの自治立法の確立等も議会としての役割であることも学んだ。

「村づくりは人づくり」技術が人と人をつないで幸せと余裕を生み出す。という北海道の更別村長（さべつ）の講話も印象的であった。

現地調査

ふたば園

令和2年8月より、新園舎での保育がスタートした「ふたば園」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会での視察が出来ませんでした。

12月定例会終了後、園舎内の案内をしていただきました。

木を使った温かみのある外観、室内は安全面に考慮し、全てがバリアフリーとなっていました。



国道219号道路改良工事 防災・安全交付金

現地調査



◀ 越野尾工区 780m

法面工事及び橋梁下部工は令和3年度に、
橋梁上部工は令和4年度です。

令和5年1月供用開始予定！

▶ 越野尾二之渡工区 全体延長1.2Km

全体事業費 約25億円

令和3年度 路側工 L=150m 計画

調査・設計 用地測量、用地補償

主要構造物は橋が1つ新設され、越野尾橋の
車幅が1m広がります。(令和4年度以降)



越野尾山之戸残土処理場

10トンダンプ1万台分処理可能！

大雨にも配慮しながら現在90,000㎡の
残土が処理されています。

60,000㎡の残土処理可能です。

県道小川越野尾線

全体概要

計画延長 5,000m

令和3年度道路改良 170m

舗装 120m

関係者・作業員の方々の尽力で、法面工・改良
工が着々と進んでいます。



尾春地区山地災害の早期復旧整備 について要望を行う

要望内容

令和2年、令和3年と台風等の豪雨により尾春地区で山腹が崩壊し土石流が井戸内谷に流入しました。

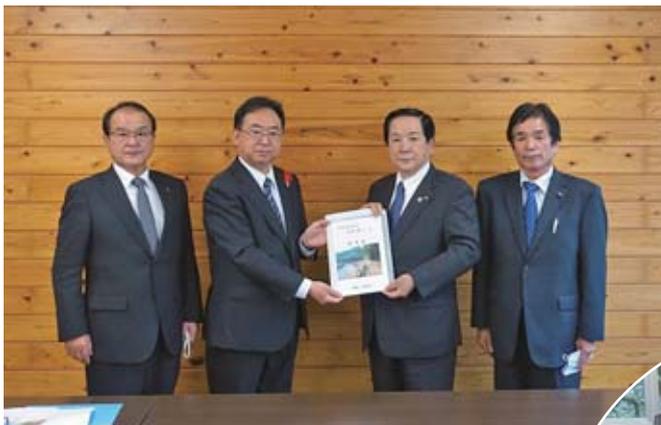
宮崎県では、発生直後から調査、測量設計等迅速な対応をいただいておりますが、再度山腹が崩壊すると、溪間内に堆積している土砂が直下の人家や養魚場等に流出し、人命や財産に大きく影響する恐れがあります。土砂流出を防ぐための対策を梅雨時期に向けて早急に進めていただくよう要望しました。



井戸内養魚場前の様子



拡大



令和3年11月25日、村長とともに宮崎県知事(写真右)、県議会議長(写真下)、県環境森林部長(写真左)に対して、要望書を手渡しました。



村民の思いをたすきに込めて

にしめら陸上クラブが発足して11年目、現在クラブに所属している児童は50名です。毎週火曜日と木曜日の夕方5時から1時間半程度練習を行っています。鷲崎弘一さんと松葉大樹さんの指導の下、子どもたちが真剣に走っている姿が印象的でした。走ることを通して、目標を持つことの大切さや、子どもたち全体の体力向上の底上げになればとコーチも願っていました。保護者と指導者の連携が子どもたちの成長に繋がります。1月10日に宮崎市で行われる、県市町村対抗駅伝競走大会にも出場します。

村民の思いをたすきに込め、頑張れ西米良の子どもたち！



編集後記



新年あけましておめでとう
ございます。

今年の本村にとって重要な選挙の年となります。3月には村長選挙と村議会議員補欠選挙が同日に行われる予定で、夏には参議院議員選挙が行われます。全国トップレベルを維持している本村の投票率をさらに高めていきましょう。

また、本村は第6次西米良村長期総合計画の基本目標を「カリコボーズと1000人が笑う村」として各施策を展開しております。確実にその目標へ前進できるようにしっかりと議論や調査を行い、その内容を村民の皆様にはわかりやすくお伝えするための議会広報誌を目指していきます。
本年が良い年となりますように！
(ことうき)

議会広報常任委員会

委員長 黒木 竜一
副委員長 上米良 玲
委員 児玉 義和
白石 幸喜